

# 余暇のひととき

文化協会より

## 短歌

△吉田短歌会▽

強き日本豊かな日本作らんと一生懸命か宜し協力

杖なくば歩けぬ吾れとなりたれど夢の中では焔を打ちをり

ぐいぐいと地曳き網ひく親子の船息を合わせて徐々に寄り添う

みずみずしき梅の若葉の萌えいでてあまたつけたる実の紅に染む

恋詩を螢に託すこともなくただただ老いて徹する毎日

脇口 定 総  
奥平 美代子

加賀山 愛

岡田 幸子

伊豫路 たく磨

## 俳句

△かわせみ句会▽

由布岳や母の故郷麦の秋

麻布の卓布に代へて日曜日

贈らるる「不老長寿」てふ新茶

捨ててもせぬパスポートあり雲の峰

夏蕨リュックに挿して歩きけり

岡本 昌美  
黒田 和恵  
河野 宜子  
中村 里子  
浜野 茂  
前川 つつみ  
薬師神 和美  
平岡 千代子

△檜扇句会▽

陽炎へる向かうに黄泉の見え隠れ

脈脈と源氏の系譜青嵐

老鶯や万葉仮名の舟出歌碑

霞うつつすら鶴島城の天守閣

奔放に生きむ高きへしやぼん玉

木漏れ日の遊ぶ石橋涼しかり

濡れて行く異国の遍路二人づれ

格子越し覗く阿羅漢風薫る

盆梅の古木たくまし実の七つ

鳥声に始まる朝の新茶かな

風に陽に笑むやう菖蒲咲き満ちて

英豌豆柵を伝って天へ伸び

花は葉に綺羅なす湖の青青と

松浦 泉湧  
板崎 喜久子  
岩藤 富子  
岡田 咲光  
奥野 美代子  
織田 好江  
近藤 正子  
西崎 永仁郎  
日高 峰子  
森川 瞳  
山本 浩康  
山本 道美

△早蕨句会▽

振り返る凸凹の道かげろへり

銀行の発祥の碑や燕来る

遠目にも喬し墓苑の紫木蓮

緋牡丹の蕾膨らむ日差かな

まだ春の端っこにるトー・シューズ

播鉢のやうな梅林一壺天

金剛山のふもとに春を惜しみけり

松浦 泉湧  
井芝 千章  
榎本 カメノ  
岡根 富佐子  
岡野 未由子  
酒井 孝子  
浜田 千鶴  
毛利 珪子  
山田 勢津子  
山本 ことみ